

土岐川グリーンベルト通信 第128号

令和7年度「土岐津の森」土岐津中学校による活動報告

土岐川流域グリーンベルト活動とは

多治見市・土岐市の“市街地に隣接する樹林地”を「土砂災害に強く、自然環境や景観が豊かな樹林地（グリーンベルト）として保全・創出すること」を目的とし、行政機関やボランティア団体等地域と連携して活動しています。

土岐津中学校での取り組み

土岐津中学校の1年生約80名が、ふるさとの森「土岐津の森」を舞台に、土砂災害や樹林の働きなどについて学び、森林の土や木の観察を行いました。この活動は、土岐市・多治見さぼう・みちボランティアクラブ、多治見砂防国道事務所の支援のもと実施しました。

○学習会 11月6日

屋内学習:「砂防のはなし」「森のはなし」「ハザードマップの確認」

「土岐津の歴史について」 屋外学習:「土石流模型実験」

○観察会（野外学習） 11月13日

「土岐津の森の観察」「森の土の調査」「森の木の調査」



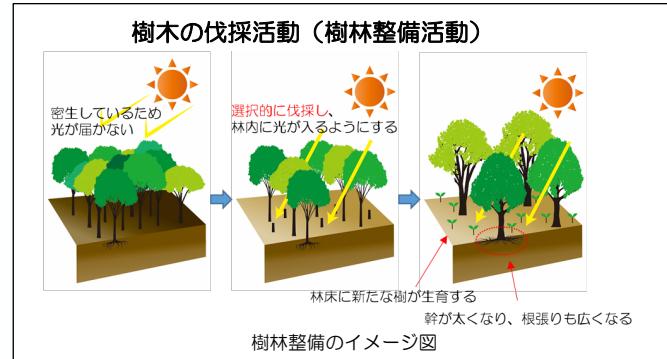
11月 学習会（砂防・土岐津の森・防災に関する学習）

強くて豊かな樹林にするために

土岐市では、かつて陶土の採掘等によって「はげ山」が広がっていました。「はげ山」では、少しの雨で大量の「土砂」が流出し、下流域では土砂災害が頻発していました。はげ山からの土砂の流出を軽減するため実施した砂防事業等により、緑が回復しました。

しかし、現状の「土岐津の森」は林床が暗く植物が芽生えにくい環境であり、斜面崩壊防止機能をはじめとした樹林が備えるさまざまな効果が期待しにくい状況となっています。

そのため、土砂災害に強い「明るい樹林づくり」に取り組んでいます。



砂防・森のはなし



「砂防・森のはなし」では、樹林地が荒廃していた歴史や樹林整備の必要性、砂防堰堤の働きについて学びました。

ハザードマップの確認



土岐市の職員の方から、ハザードマップの説明をしていただき、土岐津防災の会の方々と共に危険箇所を確認しました。

笠原の歴史について



土岐津の歴史とはげ山から森林への移り変わりの過程について、先輩たちの土岐津の森での活動も含めながら勉強しました。

土石流模型実験



砂防堰堤によって、土砂災害の被害が軽減される仕組みと様子を模型実験で学びました。



11/13 観察会

今年度は、「土岐津の森の観察」や「森の土・木の調査」を行いました。生徒たちは、普段なかなか入ることのない「土岐津の森」に直接触れ、土や木の特徴を教わりながら、土岐津の森の特徴、強い森を保つための手入れの大切さなどを学びました。一所懸命に森を観察する生徒たちの姿がとても印象的でした。

ほとんどの生徒にとって初めての山歩きでしたが、土岐市、多治見さぼう・みちボランティアクラブ、多治見砂防国道事務所の皆さんとの温かいサポートのおかげで、最後までみんな笑顔で安全に活動を終えることができました。

危険予知活動



樹林地の観察



土岐津の森の観察



森の木と土の観察



○生徒のコメント（一部抜粋）

- ・土石流模型実験の砂防堰堤の働きがわかって比べてみるのが楽しかった。
- ・土岐津の歴史についてもっと詳しく知りたいと感じました。
- ・先輩たちが手入れをしてくれた場所は腐葉土でその上を歩いてみるとふかふかしていた。
- ・先輩たちが整備した森と整備されていない森を比べて観察すると、違いがありすぎて驚いた。思っていたよりも山はとてもきれいで、観察するのが楽しかったです。
- ・いろんな植物を見たり、葉を触ったり、森のにおいが分かってよかったです。
- ・たくさん時間はかかるけど、腐葉土が厚くなるよう見守りたいと思いました。そして、グリーンベルトのような活動に協力したりする人が増えるといいなと思いました。
- ・山の頂上から見た景色がすごく綺麗だった。空気が美味しい自然を感じた。
- ・先輩たちが作った山の中の歩道は、他の場所とは違いしっかり歩けるようになっていた。
- ・先輩たちが残してくれたこの山を次の後輩で繋いで行って印象に残るような綺麗な山を続いていけたら良いと思います。

○土岐津の森グリーンベルト活動の経緯

平成18年：活動開始（歩道整備、森林調査等）
平成20年：樹林整備開始

○過去の主な支援者

土岐市、岐阜大学、NPO法人鎮守の森、
土岐口財産区、土岐津公民館、
多治見さぼう・みちボランティアクラブなど

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所 砂防調査課
〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6
TEL: (0572) 25-8024
【事務所HP】 【砂防X(旧Twitter)】

